

勝利争闘年末季秋 12月ゼネスト貫徹にむけ

青年部は先頭で決起せよ



「若者が先頭におどり出さば情勢が到来した」挨拶と決意の語る田中本部青年部長。

日刊 勤労千葉

82.11.22

No.1200

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
鉄電(二九三五)六・(公衆電話)27七二〇七

才一回青年部長会議開かる

青年部は、11月19日13時より千葉運転区講習室に於て、82年度才一回青年部長会議を開催した。各支部青年部長、本部青年部常任、会計監査計22名が出席し、成功裡にかちとられた。九月十士のののい先頭で担った各青年部長の顔は、自信と確信に満ちており、青年部運動の着実な前進を示していた。【記事：青年部通信員・発】

確認された青年部当面する六つの課題

- ① 秋季年末争闘勝利は月ゼネスト貫徹……我々は、57、77、79の改「合理化」に反対し、当局の理不尽な中央協定締結拒否「労組無視抹殺攻撃」に反対し、36破壊長期非協力争闘に、とりわけ国労の仲間は、順法・ストライキを構えて断固たる闘いに決起した。遂に国鉄労働者の怒りが爆発し情勢を根底から揺さぶりはじめたのだ。壮大な闘いへの爆発と勝利の展望は切り拓かれた。ところが、勤労本部革マルは、この国鉄労働者の決起に生死になて敵対し、完全に当局「支配」の側に移行したのだ。権力の手先「当局の先兵」勤労本部革マルを全職場から叩き出し一掃する事は、全労働者の必須の課題となった。またも鉄労の手を組んで争闘に血道をあげ、総評に「国労支援をやめよ」と抗議の申し入れまでした勤労本部「革マル」を粉砕して、12月ゼネストの大爆発をかちとろう。我々青年部は、その最先頭で起とう。
- ② 三里塚二期着工阻止・反対同盟破壊策動粉砕……戦争体制構築をさせる支配階級は、反戦の若「人民抵抗」の拠点つがしを組んで三里塚反対同盟の組織破壊攻撃を激化させてきている。敵は革マルまで動員して「デマ」攪乱攻撃を激化させ、二期着工攻撃とこの成田用水での買収攻撃など、現地は今、決戦情勢の中で闘っている。敷地内同盟を守り、二期決戦勝利の83年3月の大爆発を準備するための重要な闘いとして、青年部は11月28日の東京実行委主催の現地争闘を全力でとり組む。
- ③ 大合理化・既得権利奪・マル生支配・国鉄労働運動破壊攻撃粉砕……パス廃止、現協破壊、仲裁凍結、検修下廻り合理化等と対決し、一人一人の総決起を職場につくりだして、国鉄労働者の全国的総決起を創り出すべく、全国オルグ等更に進めよう。
- ④ 83春闘政治決戦勝利Ⅱ中江運挙争闘必勝……労働運動と地域争闘を結合させ、勤労千葉の闘いを更に拡大し、社会のみならず、軍事大國化改憲攻撃に反響する決起を創り出して、いかに、即ち国鉄労働者の代表としての中江候補必勝にかけ向う。
- ⑤ 反戦・反校・軍事大國化改憲攻撃粉砕……10、11三里塚争闘の爆発がきっかけになり、10、11月反戦反校争闘の高揚を更に発展させ、12月ゼネストと結合させ、来年3月「三里塚・反戦反校」鉄決戦の体制を築かず大爆発をかちとろう。
- ⑥ 勤労本部派解体・一掃、青年部運動組織の発展強化

「絶括」では、10、11三里塚、21反戦、24反核、31狭山争闘の高揚とそれを最先頭で牽引した青年部の奮闘、国鉄労働運動解体(臨調)緊急11項目攻撃、検修合理化、57、77、79改「攻撃」との対決、職場からの決起と活性化、および一定の歯止め、を確証した。

【背景】では、今や全世界的に「大恐慌前夜」的情勢に突入しており、至る所で戦争と体制変革があいついでいる。日本帝国主義は、侵略への道以外に危機脱出の途を失っており、軍事大國化改憲めざし、国内支配体制の反動的再編に暴力的にうつら出てきており、一切の権利剥奪、犠牲のおしつけを人民に求めている。三里塚・国鉄をめぐる攻防がその基礎となっている。そこで、この基礎をめぐって、82年秋の階級情勢は激突し高揚にむかっている。これが確信固く確認された。

そこで、提起と討論をひかえて会議は、以下の「方針」を確認し、秋季年末争闘、とりわけ12月ゼネスト貫徹を通じて、83年3月の三里塚・国鉄決戦に、体制を揺がす、大勝利を勝ち取ることを目指して奮闘し合つことを確認し、最後に保田常任の首領を意気高く「団結ガンバロー」を三唱し、終了した。

11、16青年部ブロック支部間交流開かる

秋季年末争闘勝利にむけて、その先頭に立つべく、青年部はこの向、ブロック別支部間交流を行った。その目的は、12月ゼネストへ向けて闘いの構築をはかる。①各支部青年部の闘いと教訓を交流し、青年部体制の強化発展を勝ちとる。②同志の同志。

- 11月12日―於 佐倉支部(千葉支部) 成田・佐倉支部が参加
 - 11月13日―於 館山支部(千葉支部) 館山支部が参加
 - 11月16日―於 新小岩支部(蘇我) 津田沼・新小岩支部が参加
- 川津田沼、北佐倉、木更津、船橋、4支部全てに出向いて、検修関係4支部交流会も開催された。